

第6回山ノ内町議会報告会実施結果報告書(東部下)

日時	平成25年2月1日(金) 午後7時～9時まで
場所	山ノ内町文化センター2階学習室 (住民参加者数:13人) 議員 15人 事務局 1人
地元協力団体	湯田中区 上条区
議員役割分担表	<p>総括責任者 高田 佳久 司会進行 西 宗亮 常任委員会報告者 総務常任委員会 高田 佳久 社会文教常任委員会 小根澤 弘 観光経済常任委員会 黒岩 浩一 広報常任委員会 渡辺 正男 議会活性化委員会 児玉 信治 記録者 田中 篤 出席議員 湯本 市蔵・小林 克彦・山本 一二三・渡辺 正男・徳竹 栄子 黒岩 浩一・山本 良一・児玉 信治・高田 佳久・高山 祐一 布施谷 裕泉・田中 篤・西 宗亮・望月 貞明・小根澤 弘 (事務局一名)</p>
次第(担当者)	<p>1. 開 会 司会者 2. あいさつ 主催者 湯本 市蔵 副議長 共催団体 湯本 誠俊 湯田中区長 三井 和男 上条区長 3. 議員紹介 司会者 4. 報告事項 (1) 議会常任委員会等報告 ①総務常任委員会 ②社会文教常任委員会 ③観光経済常任委員会 ④広報常任委員会 ⑤議会活性化研究会 (2) 懇談事項 5. 懇談事項 (1) 少子高齢化とどう向き合う 6. その他 7. 閉 会 司会者</p>
報告事項の質疑	<p>質問:観光客数をどこも把握していなかったが、どのように入手したか。 回答:県よりの数字である。正確さは不明だが対比で傾向はわかると思う。</p> <p>質問:消火栓の故障を放置していた。また住民に使い方の講習はないのか。 回答:消防署の担当、講習は行事と合わせ実施ではどうか。議会も要請する。</p> <p>質問:消防団が火災報知機の確認に来たが設置の指導をどうしているのか。火災があったので 推進したらどうか。 回答:有線で呼びかけている。町は設置状況の把握していないのでするべき。</p>
懇談会意見	<p>質問:この町には元気がない、閉塞感が充満している。議員に熱望したいこと ①云いっぱなし、聞きっぱなし(発言後の追跡が欠けている)反問権は。 ②自分ならどうするという主体性・自己主張がない。 ③議員の任務(A)エリアの代表としてのニーズの発信と対応 (B)全町民の幸福を願う全ての問題の発掘と対策 信念とリーダーシップ ④スピード感がない。小田原評定では政治は動かない。 ⑤各会派のすり合わせで、その時その時の重要課題をピックアップして集中審議会を開 いたらどうか。</p>

懇談会意見

回答:町理事者職員が企画・実施し、議員がチェックするのが本来の姿である。
国保税の問題で意見を出し賛否があった。反問権の付与で①②がないように留意している。会派は勉強会の意味合いが強いが今後検討する。

意見:①通学路の問題について

楓通り、町道湯田中夜間瀬線が危険であり早急に対策を。楓通りは散歩道にしたらどうか。

②農業振興について

農業・観光のドッキングの推進を。県の荒廃農地対策に町も努力。

③体育館新築について 反対である

箱物行政の時代ではない。

4小統合後の空き校舎の活用で南部はスポーツ特区で雨天でも利用できる施設を作る。

夜間瀬は介護特区にして介護で雇用を増やしたらどうか。

北部は観光資源として利用したらどうか。

④小学校統合について 統合賛成である

議員の質問に意思が伝わらない。教育長交代で統合に影響あるか。

⑤内閣で国防軍問題がある。GHQの主導であるが平和憲法は良いので改憲しないで欲しい。310万人の犠牲者の上の平和である。

質問:議会だよりを呼んでいる。今後気づいた点があったら質問したい。

回答:町政キャッチボールに投稿していただきたい。

質問:前坂のチェーンベースの近くにコンビニができないのか。

回答:民間のことは議会に限界がある。活性化と有効活用に努力していく。

意見:若い人が住めるよう思い切った事が出来ないか。

質問:少子高齢化に特効薬はない。議員は視察で先進地事例を研究し良くするための提案する責任がある。

回答:少子化、結婚問題があり取り組んでいる。

観光、農業以外の産業の育成で雇用を守らなければならない。

質問:多くの小グループががんばっている。町と職員も援助協力してほしい。

回答:町、地域の支援が必要。空き家の再利用等国の助成の研究および総務省制度(地域起こし協力隊)の他地域での活動を参考にしたい。

意見:平穏木材の跡地を町で買い上げてイベント会場にしたらどうか。

意見:町の雇用を守る新しい第三の産業を介護ではどうか。

質問:病院が一軒しかなく不便している。解決できないのか。

回答:北部診療所の件北信病院と町と真剣に努力し取り組んでいる。

質問:県の森林税活用での里山整備、間伐の実施状況は。切りっぱなしが害虫を増やしているのではないか。

回答:町は県内でも進んでいる。間伐材は利用の方針が変わってきた。

意見:地元の高校がスキーの合宿をしない。町、議会で要望出来ないか。

意見:医師が家、土地を探していると聞いたが町で便宜はかれないか。

意見:森林税は果樹等にかかる杉の枝の伐採、緩衝帯に役立っている。

意見:少子高齢化はどうしようもないと思う。

質問:2年前にアンケートがあり働く産業がなく若者は住みたがらないとの結果が出たが町は何をしたのか。町に魅力がなく町職員が外に家を作る状況を変えるため若者定住には町と議員はもっと努力すべきだ。

小学校統合問題は早く進めるべきだ。現在東西南北の垣根はない。

子どもの将来のためにも早く多人数学級を経験させるべきだ。

回答:人口減問題、若者定住については、議員も真剣に取り組んでいる。

質問:学校統合については子どもたちは統合の気になっている。

住民の意見だけでなく議員個々の意見も聞きたい。

回答:議会報告会は議会の活動の報告と共に住民の皆さんの意見を聞く事が主旨で議員の個別の意見は差し控えている。

4小統廃合での議員個人の意見はあるが議会として報告できる状態でない。